

## 士気高揚と技術向上を図る にかほ市消防団消防訓練大会

7月9日、消防署前広場でにかほ市消防団訓練大会が行われました。地域の防災で重要な役割を担う消防団員が一堂に集い、速さや正確性、安全性などを競い合う本大会。日頃の訓練で技術を磨いてきた団員たちは訓練礼式と消防操法の種目に臨み、観戦に訪れた家族や地域住民の応援を受けながら真剣な眼差しで技術を競い合いました。



▲たくさんの応援ありがとうございました

## 愛情あふれるパパの学び場 パパとはいはいの赤ちゃんの遊び場

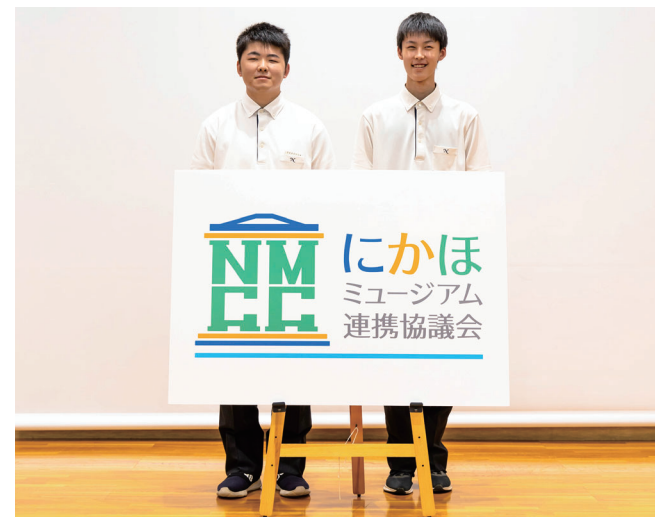
7月10日、にかほ市ネウボラあのおで、パパ向けの育児教室「パパとはいはいの赤ちゃんの遊び場」が開かれました。7カ月以降の赤ちゃんのはいはいや安定した歩行についてのうながし方や遊び方について、パパとの自由な遊びを通じて学ぶ本教室。パパたちは講師の話に熱心に耳を傾けながら、子どもの成長について理解を深めていました。



▲はいはいの促し方について学ぶ参加者

## 市内博物館のさらなる連携強化へ にかほミュージアム連携協議会5周年記念行事

6月26日、市内博物館5館でつくる「にかほミュージアム連携協議会」の設立5周年記念行事が金浦公民館で開催されました。5周年を記念し仁賀保高校情報メディア科が作成した協議会のロゴの披露や、小園教育長（前秋田県立博物館長）による記念講演などが行われ、参加者たちは今後のさらなる連携強化への決意を新たにしました。



▲ロゴを発表する仁賀保高校齋藤さん(左)と須藤さん(右)

## 仲間と協力して一歩ずつ前へ 仁賀保高校 全校鳥海登山

6月23日、仁賀保高校による全校鳥海登山が行われました。これは、自然保護と郷土を愛する心を養うことを目的に毎年6月下旬に行われている当校の恒例行事で、今年は鳥海山登頂を目指す全校生徒155人が参加。あいにくの空模様で7合目までの登山となり登頂は叶いませんでしたが、困難に耐える精神力や教職員と生徒の連帯感を育みました。



▲登山道のところどころにある雪渓を進む生徒たち

## 芭蕉が見た景色を横目にシャワーラン 第33回トライアスロン 芭蕉レース

7月16日、象潟地区で第33回トライアスロン芭蕉レースが行われました。4年ぶりに開催された同大会。悪天候により予定されていたスイムとバイクは中止となりランのみの実施となりましたが、エントリーした168人の選手たちは、沿道で市民の声援やボランティアによる給水を受けながら松尾芭蕉が訪れた最北の地象潟を駆け抜けました。



▲多くの声援を受けながらスタート！

## 4年ぶりに児童が歌を披露 仁賀保神社・齋藤神社例祭

7月12日、仁賀保神社・齋藤神社にて例祭が行われ、郷土の発展のために尽した農聖齋藤宇一郎を讃える歌である「齋藤宇一郎先生を讃える歌」が平沢小学校6年生の児童52人により披露されました。新型コロナウイルスの影響による中止を経て4年ぶりに披露された讃歌。児童たちは今へと続く先人の業績に想いを馳せながら大きな声で合唱しました。



▲郷土の偉人を想いながら一生懸命歌う平沢小児童

## キッチンカーやステージイベントで大盛況 にかほ夏フェスティバル2023

7月8日と9日、道の駅象潟「ねむの丘」でにかほ夏フェスティバル2023が行われました。多数のキッチンカーが出店したほか、超神ネイガーショーやキッズダンスステージ、自衛隊車両やキャンピングカーの展示などたくさんのイベントが目白押し。会場には多くの観光客が詰めかけ、グルメやステージイベントなどを楽しみました。



▲それぞれ思い思いの夏を満喫していました

## 県内自治体初の就任を宣言 「こどもまんなか応援サポーター」就任宣言

市は7月3日、こども家庭庁が定める「こどもまんなか応援サポーター」の就任を宣言しました。これは同庁の掲げる「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同し、子どもたちが健やかで幸せに成長できる社会を実現するために行動する自治体などが就任できるもので、県内自治体では初。市では今後も「誰一人取りこぼさない子育て支援」を推進していきます。



▲白百合こども園にて子どもたちと一緒に宣言しました